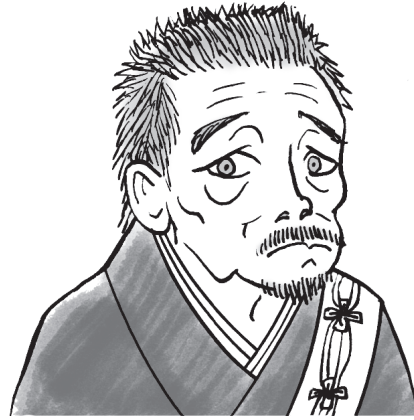


(1) 一休禅師ぜんし



とんち話で有名な「一休さん」のモデルになったえらいおぼうさん。

※インターネットや書籍などにある肖像画を使います。

(2) めでたい言葉

①あるお金持ちの商人が、一休禅師のもとをおとずれました。

一休様、わが家に孫まきが生まれました。そのおいわいに、何かめでたい言葉を書いていただけませんか。家宝かほうにいたします。



②このころよく引き受けた一休禅師が書いたのは、この言葉でした。

親死ぬ  
子死ぬ  
孫死ぬ

③めでたい言葉をおねがいをした商人は、カンカンにおこって、

「死ぬとはどういうことですか!？」と、一休禅師を問いたりました。すると一休禅師は次のように答えました。

では、あなたは、孫死ぬ、子死ぬ、親死ぬのほうがいいのですか？



④ますますおこって帰ろうとする商人に、一休禅師は、「親が死に、子が死に、孫が死ぬ。これほどめでたいことがあるうか。これがぎやくになつたらどうする」と、話したそうです。